

NEWS RELEASE

重点事業分野である電子材料事業をさらに拡大
熊本拠点に約 60 億円を投資し先端半導体材料の生産設備を導入
イメージセンサー用カラーフィルター材料の生産能力を増強

2024 年 1 月 15 日

富士フイルム株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長・CEO：後藤 禎一）は、電子材料事業をさらに拡大するため、熊本拠点に約 60 億円の設備投資を行います。

今回、電子材料事業の中核会社である富士フイルムエレクトロニクスマテリアルズ株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：小林 茂樹、以下 FFEM）が、熊本県に立地する当社生産子会社の富士フイルムマテリアルマニュファクチャリング株式会社九州エリア（以下 FFMT 九州）に、イメージセンサー用カラーフィルター材料の生産設備を導入します。なお、本設備は、2025 年春の稼働を予定しています。

イメージセンサーは、光を電気信号に変えて映像化する半導体で、デジタルカメラやスマートフォンなどに搭載されています。近年、自動車やセキュリティ機器などへの用途がますます広がる中、イメージセンサー市場は年率約 7%^{※1} で成長することが見込まれています。

富士フイルムは、イメージセンサー用カラーフィルター材料を静岡と、台湾の新竹で生産しています。また、韓国（平沢）でも同製品の工場の建設を進めるなど、生産拠点を拡充しています。さらに、高度な機能性分子技術やナノ分散技術などを生かして、可視光領域にとどまらず、広範囲な波長領域をターゲットとした製品の開発と市場導入を促進。Wave Control Mosaic（以下 WCM）^{※2} として製品展開を図り、ビジネス拡大を進めています。

今回、FFEM は、イメージセンサー用カラーフィルター材料の生産能力拡大に向けて、FFMT 九州に最新鋭の生産設備を導入します。また、クリーンルームを設置するとともに、最先端の検査機器を導入し、品質保証体制を構築。静岡拠点と同様の生産・品質保証体制とし、BCP 対応をさらに強化することで、より安定的な供給を実現します。

今後、富士フイルムは、イメージセンサー用カラーフィルター材料において世界 4 拠点の生産体制の下、高い品質基準で生産・提供し、トップメーカーとしての供給責任を果たすとともに、顧客ニーズにあった新規製品の市場導入を加速させることで、WCM の売上拡大を目指します。

尚、FFMT 九州では、半導体製造プロセスの基幹材料である CMP スラリー^{※3}を生産する最新鋭設備を 2024 年 1 月中に本格稼働させる予定です。

富士フイルムは、2023 年 10 月、米国の半導体材料メーカー Entegris, Inc.（インテグリス社）の半導体用プロセスケミカル事業を買収しました。これにより強化した、幅広い製品ラインアップやグローバルでの安定供給体制、さらには高い研究開発力や顧客との強固な信頼関係も強みに、事業成長を加速させ、2030 年度には電子材料事業で 5,000 億円の売上を目指します。今後も、最先端の半導体材料を開発・提供していくことで、半導体業界の発展に貢献していきます。

- ※1 市場調査会社「テクノシステムリサーチ」の「2023年上期版 CCD&CMOS 市場のマーケティング分析」より。
- ※2 広範囲な波長の電磁波(光)をコントロールする機能性材料群の総称。デジタルカメラやスマートフォンに用いられる CMOS センサーなどのイメージセンサーのカラーフィルターを製造するための着色感光材料を含む。
- ※3 硬さの異なる配線や絶縁膜が混在する半導体表面を均一に平坦化する研磨剤。

<設備投資の概要>

1. 場所	熊本県菊池郡菊陽町 (FFMT 九州の工場内)
2. 総投資金額	約 60 億円
3. 投資内容	イメージセンサー用カラーフィルター材料の生産設備・検査機器など
4. 稼働開始時期	2025 年春

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

【報道関係】 富士フイルムホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループ

TEL : 03-6271-2000

【お客さま】 富士フイルム株式会社 エレクトロニクスマテリアルズ事業部

TEL : 045-534-8824